## No.16 2010年3月

企画・編集・発行清里まちづくり協議会事務広報部会

清里まちづくり協議会事務局

〒370-3573 前橋市青梨子町339 清里公民館内

TEL251-9005 FAX255-0341

http://www.city.maebashi.gunma.jp/ まえりあ清里

▼で検索

る

<

ま

づ

<

1)

L

た多増す々団心だちま。に地の に地の清 若 変 の 地 里 化造域地 を成か区 も近来 て ろ活にの で躍な居 りは農

たいづ気増とをなた立び活ン加環里ケい とをなた立い活ノ加塚エノ・でさ評だし育が夕え境地「た過だ方え コれ、ないとこう 様っている ないない ままに ろうしゅう ままに ろうしゅう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう かいしょう はんしょう はんしょく はんしん はんしん はんしょく はんしょく はんしょく はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしんしん はんしん はん と全もて くらしに も もたご 多 自 ア協すをり住り 

で 々 るた産食まいた ベ 清 の 文 た と だ り 安 高 あ れ 価 い て つ 便 Ⅰ て に 区 ト だ 日 い 面 存いに心齢りてもていま利も大もは調き多てに職年 じて皆し者ま成多いるち。隣型恵災査実くいわ業層 ま推様てもすりくま地、子接シま害結施のるたもの すりくま地。かのすば きゃ守年ま推様ても 立のす域安どして 。と全もて 多 進の暮 し知らくこ ー っ 皆 て恵せなれて様こ評の値がおり、なれて様の値ががいがある努よをがいがいたがいたがいたがいたがいたがいたがいたがいたがいたがいた。 りを境元はこ力うい確伸生セ

玉り培 々ねなわ をぎがれ を 発 らた い展活 まさ用地域 き 化 公

せし元の

にりまた皆ぱで だ様いも す。 いのに I 桜 耕 よ か 端 の い の 力 て ご し 清 るら町サと花を順理よ里 桜始のル思で合調解う地ま まハビいあわにと っ幡アまふせ進ご すを た川植すれて展協る花 る し力活でり 清色てを動いの

もま徐宅中

ア年 各しど ボ 土 栽 手 ラ 手 を 入 ン に 始

しし

覧がにに場見清の季ドさ町上リや田れテ三めく掲はな所ご野水節、いの青ッチの、ア年、 掲はな所ご野水節 いの青ッチの 動館ただ示地りがた町仙の青口あ梨プュ秋休に前池町たりもな、さし区ま陥え公口花梨Iバス、I桜舞よか端のいの さし区ま随え公口花梨Iじ子 皆成活ど清いて内し所の民 々 子 あのたにあ館ド 見る前や青の IJ お ま 清ら花の前梨県 すの でプ民よ咲等壇でプロ館うく、 前い 原の

活民まく の習もな り様果発を里 ががをに拠公 たご文し点民 い披化てに館 で露祭いしや すいなたた各 たどだ文町

里といいもっ中 と継町上 **|** 望の せ獅のある約で祭 て子盆りとハす いとりすうの

を町取さ里こもる じの自もも さまいちた加多種 しらいたづちしく団 くが交あ体 ま なりだ るまけり暮流りがごするにらを、参 る よ楽すす老加 加各うし清るいす

でり方後い里もまい議くま 清てしと協づ里

よをとのた地 ろ推共活貴区 進に動重の くし住にな皆 てみ生ご様 お 願ま良か意方 いいいし見か 申りま てな 5 しま ち どい づ皆をた 上す げのく様今 だ

せた答いまもだ

たでえ

町持びし問発多すみ

て伸てに展かいや

いすたま

、した会りち清お行りを地と若行な思続の青 三ふそ 願事組感区でき事おい発野梨結 ま展良子果てし開さ いのでてま分参数各すさ犬町もいを催と ま舞踊まい割がは開 りと のア方花平の でン々火成、ケがなニ たも清 いに野

ち区たえうで花でしらは関でま関にてケーまもだ。るといい、てれ道越いし心まいトた感けこか「なっまいと路道るたがちたい。 つまいと路道るたがちたトちよハ にすたま、心でのなりになるでは、心でのなりになるでのもいくのもいくのものであるであるである。あるでは、いったのは、いっ あづだ調づう年ま くき査くとにち んたあ地い他組言内い動りとれ花る総 う活し結広 出が供もかない住区ま地みっでるにの聞い畑と社金に動た果報来夢が安の町へみはし区にてもか取人かだが清方古感にがを紙るを伸心質にんや住たの清い花らりたれが多里面にじ対しまる を紙ま四事 人里まをと組ちたどく地か住らし非とア た地し植言んがのう見区らんれて常めン

づ < 1) 議 会 녙 一るび暮はさっとす

育ら

清 里 Ⅰ地 発 域 展に のつ 方い 向 て 性

たづいたす住い多いく交だの民てく 交だ ۲ 流き での各の し 交 種 多 極 く 的 τ 極流事 を業の で プ し 住 の に て み 方 参 行を も つ 力 や々加てすとしい いゃ た てい内 だい語 てき地た で加 き町らいま域だもの

かパすっている。番のようでは、 、てもな 清い ੇ ਰ ° の管 で 体 件 はない な地区 で 内数 でに は つ

と地町し生来若とよていで街学 かパを域内てもたいしうは地、化校まとトーニョ ら人てで宅域な調児た感し、計画でかった。 割しまる ロー・ボーブ かっち カー・ボーブ かっち カー・ボース カー・ボー カー・ボース カー・ボ います。自治会活動もおます。自治会活動もろけなるのではと期待ら子どもも増え、小学ので、農地を宅地ですので、農地を宅地ですので、農地を宅地をおりたちの住宅が多く出る所もある場ですが、場所によっなかなか宅地化が難し つ指思 た った て ち  $\overline{\mathsf{X}}$ て 域 いが自の ۲ りです。 な の ょ るす が いも待学出 と市小

> Τ に目めに 層た い L 里ふるさと祭」を いら性住 平のぐ化む 成 場 ふを清 十所 る 図 里 九の さるの 年 創 لح スハ設 لح ょ

タ月を認もり 事 のは のため、協花火の打したしました 対ち上げ. ごを

ご方 配か力

ま中はもピで金助だ市る様が心る協大 親たを の事 結 し心 • たち に 子 そろって 一部 てに午の、後祭ら 認 振度 制の 後 祭 ら可興も 夕 かりれさ 調 盆 で 足 方 方ら用たれか子八に補 実踊 を 施り 費 運 5 تع ツ を と助 L

感でも見皆里後 花の昨 ア年 のらず感れ、 れ 火を て **|** すと 得 約 調 る 迫ぐ 同た 八 查 回 目時結 力 を かにの期果% 実 前にをの清施

> しににら使抽る を願っております。て継続が図られて行 残 改れ用選 残る「清里ふるさと祭」と改善を図り、皆様方の心れた多くのご意見を参考用方法等、皆様から寄せ選会のやり方、ハッピの 方、 , 町 前 り賛 られて行 下 め · 博 < 方 寿

## 花 つ ぱ 運

松

で葉さいしいこ

て思くの畑 **いく** さ ゃ ま 花 を す。 自 [ 宅 前 います。その方々の咲かせている方がた つ りがとうご 道 沿 にに きだっ、 から、 · 季 節 てた

の協力をいくと考えれていると考えれている。 いいさん いくこと 里 5 U てロ

すいれの | で々い | いで 。けた清口あのくドフ、 あったが ر د ح けた清ば、里 I 里)に広がり ド) に、そ 花 いま 壇 垣が線(フラロ)ただいて、. す。 井 

> 葉に励まされなが、 大の輪をつなぐった。 で来ました。 を多くの行き六年生の時でます。 大の前に、とても裏にいて、 大の前に、とても裏にでするが、 大の前に、とても裏にでするが、 大の前に、とても裏にでするが、 大の時では、 大のが、 、 大のが、 、 大のが、 て、 とら清 地 hの「お を支 域 にもし 11 ずつ まへいが 以の人たちに清に知ってもらえれば に知ってもらう に知ってもらう はいて食べまし がまし U ح まはがす、 淫 透 اما ح 清 Ū て て で あ す 清 及が う りませい · 見て が販売 里 活 5 里 問でしていましていましていましていましていましていましていましていません。 ここま 、 売 作 時 いう言 焼 くいすが郷。 目 くいさ も き 公りに だ郷 整 に る 皆

の時間を貸してください。 をつなぐことで τ 緒 仲 根佐智子 す

実発ののまい回の認も信でごたき覧づけ、指しております。 認す。にとる このたはし と方。\ て 発信回数の増加と内容の充ので、「まえりあ」での情報のご指摘もいただきましたまた、「情報量が少ない」といきたいと考えています。回覧物などで宣伝に努めての「清里まちづくり」広報や 方。、てが回一い はかる予定です。回数の増加と内容 て れ況 考 IJ IJ た ア はいった。 と認め十結存情でと認め十結存情でと認めて歳果知報清ケめる。 がい度い以での発里してもこにまがる上し方信まり

ち まい議掲 づく い 皆 た 様 た 会 だ の 載 さ れていないり」広報し だだ には「まえりあ」を 報をお れば き、この「 ない لح には 思 読 いみ協 清里

ま ご

てり みあぜ いご てく S ま来 里 す。 。 を ださ てで お 索 ま しえ

均

町

前